

武蔵野大学学術機関リポジトリ Musashino University Academic Institutional Repository

アジアAI研究所紀要の発刊に寄せて

著者	上林 憲行
雑誌名	武蔵野大学アジアAI研究所紀要
号	1
ページ	1-1
発行年	2020-03-25
URL	http://id.nii.ac.jp/1419/00001116/

アジア AI 研究所紀要の発刊に寄せて

アジア AI 研究所は、武蔵野大学のデータサイエンス学部が 2019 年 4 月の開講に先立ち、2018 年 4 月に発足したデータサイエンス学部の教育活動と連携した戦略的研究を内外のステークホルダーと連携して進めるミッションを担っている。

2019 年に開学したデータサイエンス学部は、データサイエンスという新領域(スマートデータサイエンス) X 新学習スタイル(スマートラーニング)を新結合した学修イノベーションを指向する 21 世紀型学部を目指してスタートした。お陰さまで、内外から強い関心が寄せられて、志願者も予想を大幅に上回ることができ、大学界隈に、データサイエンス旋風を巻き起こすことに多少なりとも貢献できたと自負しています。この間、ご協力、ご指導いただきました関係の皆様には改めてお礼を申し上げたいと思います。

また、1 年間の総仕上げの未来創造プロジェクトの成果発表会では、アジア AI 研究所と包括連携協定を結んで頂いている企業の皆様、同じデータサイエンス学部の先達として、滋賀大、横浜市立大、そして慶應大学、青山大学等の先生方にもお越しいただき、全学生がポスター発表や研究発表を行い、大絶賛されました。学修イノベーションの目論見は、上々に達成でき、学生は逞しく成長し、教員もその成長の手応えを実感でき、新学習スタイルに確信が深まったと思います。

アジア研究所独自の活動としても、社会人向けの AI 実践講座をインプレス社と協力して開講し、多くの受講者の参加があり、大変、好評でした。この社会人向けの実践講座からの収益は、研究所の独自予算として戦略的な研究に充当して、さらに魅力的で先端的な講座の提供につながるように再投資をして行きたいと思います。さらに、タイのタマサート大学と協力して、タイの大学生向けの AI ワークショップやシンポジウムなどを現地で開催し武蔵野大学のプレゼンスを示すことができた。

また、特筆されることは、この間、18 社以上の企業と包括連携協定を結ぶことが出来ました。この紙面を借りて日頃のご協力に改めて感謝をしたいと思います。

よろしくご高覧いただければ幸いです。

2020 年 3 月 25 日

アジア AI 研究所 所長

上林 憲行